

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌月寒高等学校長
山 本 明 敏

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 自己理解と将来展望に立ち、自主的な学習と主体的な進路実現を促す。
(2) 規範意識と思いやりの心を育て、自覚と責任ある行動を促す

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・基礎学力の向上と定着を図るため、よりきめ細やかな学習指導の方法について検討する必要がある。	・学習に取り組む主体性を育てるために、教科書から離れた教育課程や素材(新聞など)の活用などを期待する。
改善方策	・主体的に学習に取り組む態度を育成するため、生徒の実態に応じた課題や宿題などの配付を検討する。	
生活指導	・基本的な生活習慣を確立させるための指導を継続させるとともに、生徒の自主性を育む取組について検討する必要がある。	・表面的な志向に流されないことの大切さに気付かせる生活指導を期待する。
改善方策	・頭髪やピアスに関する生徒への指導について検討する。	
進路指導	・4年間を見通した系統的な進路計画の策定と生徒一人一人の進路実現に向けた指導体制の充実に努める。	・様々な職業があることの意味や今は例えば希望しない、関心がない職業の価値や意味を考えるとところから始まる職業観の育成を期待する。
改善方策	・2・3学年で職業観育成の充実に努める。	
健康安全指導	・心身ともに健康な生徒を育成するため、健康安全意識を高める教育活動の充実に努める。	・相談体制の充実・強化を図っていることを高く評価する。
改善方策	・外部講師との連携などにより、一層の健康・安全意識の育成に努める。	
運営	・分掌間・職員間の協働体制をより強め、業務の平準化を図る必要がある。	・業務改善から校務分掌等の改編を検討するとよい。
改善方策	・日常業務に加え、当番校業務等を円滑に進められるよう、分掌間・職員間の連携を一層図るよう努める。	
連携	・関係機関と連携を図り、教育活動の円滑な運営に努める必要がある。	・同窓会との連携にも努めていただきたい。
改善方策	・国や道のコロナ対策を踏まえた上で、後援会や同窓会、家庭との連携に努める。	
他	・時間外勤務の解消を図るとともに業務の質の向上に努める。	・今日的な課題に対応するような校務も考えられる。
改善方策	・一人一人の意識の高揚を図り、より実効性のある取組に努める。	
公表方法	(1) 学校HPに掲載する。 (2) 広報紙に掲載し、保護者・地域に配付する。 (3) 後援会役員会・総会及び学校評議員会などで報告する。	

3 添付資料

(1) 自己評価・学校関係者評価の結果票

令和4年度 北海道札幌月寒高等学校[定時制] 学校評価

【評価基準】 適切である:5 おおむね適切である:4 あまり適切でない:2 適切でない:1

領域	番号	評価の項目	自己評価結果 (平均値)		改善点 改善の方策	学校関係者評価 (自己評価の適切さ)	
			項目	領域		領域	ご意見
一 学習指導	1	生徒の能力・興味・進路希望など、実態に応じた教育課程を編成・実施している。	4.4	4.4	・主体的に学習に取り組む態度を育成するため、生徒の実態に応じた課題や宿題などの配付を検討する。	5.0	・学習に取り組む主体性を育てるために、教科書から離れた教育課程や素材(新聞など)の活用などをのぞみたい。
	2	基礎学力の定着や、課題解決能力の伸長を図る学習指導を行っている。	4.6				
	3	教科指導力の向上やわかる授業の実現のための研修を行うなど、授業の改善充実に取り組んでいる。	4.3				
二 生活指導	4	生徒の自己管理を促し自立を支援することを通して、基本的な生活習慣を確立している。	4.1	4.0	・頭髪やピアスに関する生徒への指導について検討する。	5.0	・表面的な志向に流されないことの大切さに気付かせる生活指導を期待する。
	5	規律ある生活により集団生活の基本を体得させ、いじめの未然防止や解消を図るとともに、社会性や規範意識を育成している。	4.3				
	6	生徒の自主性を育成するため、部活動や生徒会行事の活性化に取り組んでいる。	3.6				
三 進路指導	7	4年間を見通した系統的・継続的な指導計画により、生徒の進路意識が高まっている。	4.0	4.4	・2・3学年で職業観育成の充実を図る。	5.0	・キャリア教育は重要なため推進していただきたい。 ・様々な職業があることの意味や今は例えば希望しない、関心がない職業の価値や意味を考えるとところから始まる職業観の育成を期待する。
	8	進路面談の実施や進路情報の提供により、生徒一人ひとりの確かな自己実現を支援している。	4.6				
	9	生徒・保護者の希望や期待を実現するため、外部機関とも連携して進路指導を行っている。	4.5				
四 健康安全指導	10	心身ともに健康な生徒を育成するため、健康・安全意識を高める啓発活動を行っている。	4.4	4.6	・外部講師と連携して、一層健康・安全意識の育成に努める。	5.0	・相談体制の充実・強化を図っていることを高く評価する。 ・自らを対象にして考える健康問題とその解決や社会生活の中でのトラブルやその解決方法の学習を実施することを期待する。
	11	教育相談や生徒理解の取り組みを充実させ、いじめ等問題の早期発見と適切な対応につとめている。	5.0				
	12	安全・防災の視点から教育環境の維持向上を図るため、施設設備の日常的な点検整備を行っている。	4.4				
五 運営	13	教育活動の改善・充実に向け、教育目標や経営方針を明示するとともに、学校評価を適切に行っている。	4.5	4.3	・日常業務に加え、当番校業務等を円滑に進められるよう、分掌間・職員間の連携を一層図るよう努める。	5.0	・業務改善から校務分掌等の改編を検討するとよい。
	14	責務を明確化しつつ、分掌間・職員間の連携を図り、協働して課題解決に取り組んでいる。	4.1				
	15	学級経営の方針・計画に従って学級づくりにつとめ、HR活動の充実を図っている。	4.1				
六 連携	16	後援会・PTA等関係機関との連携を図り、教育活動や諸行事の円滑な運営につとめている。	3.8	4.0	・国や道のコロナ対策を踏まえた上で、後援会や家庭との連携に努める。	4.8	・同窓会との連携にも努めていただきたい。
	17	地域社会へ情報を発信するとともに、保護者や地域住民の要望・期待の把握につとめている。	3.9				
	18	学校便り・学級便りの発行や日頃からの連絡を通して、学校・担任と家庭との連携協力を図っている。	4.3				
七 他	19	時間外勤務解消に向けた実効性のある取組を行っている。	4.1	4.1	・一人一人の意識の高揚を図り、より実効性のある取組に努める。	5.0	・今日的な課題に対応するような校務も考えられる。